

過労死防止シンポジウム講演と落語に60人が参加 講演：長時間労働の現状と過労死防止法の課題

過労死防止法による厚生労働省主催のシンポジウム

11月12日岡山労働福祉事業会館で、厚生労働省主催の「過労死等防止対策シンポジウム」が開かれ、60人が参加しました。

一昨年成立した「過労死等防止対策推進法」で毎年11月を「過労死等防止啓発月間」と定め、各地でシンポジウムが厚生労働省の主催で開催され、今年も43県で開催されます。

いのちと健康県センター、家族の会、県労会議、岡山県、岡山市が後援

このシンポジウムは、過労死防止法成立の中心となった、過労死等防止対策推進センター、全国過労死を考える家族の会、過労死弁護団全国連絡会議が協力団体として支えています。

また、岡山では、いのちと健康県センター、岡山過労死家族の会、県労会議、岡山県、岡山市が後援団体となって、開催を支えています。

過労死防止学会代表幹事、森岡氏が講演

過労死防止対策法が成立した後に、過労死防止学会が結成されその代表幹事である関西大学名誉教授の森岡孝二氏が講演しました。

講演では、睡眠不足と疲労の蓄積をもたらす長時間労働が、過労死、過労自殺の最大要因と指摘して、労基法の建前である、1日8時間、週40時間が実際は、1日10時間、週50時間となっている。そのため、過重労働と過重ストレスによる健康障害が多発して、脳・心臓疾患による過労死の労災請求は減らず、うつ病と精神障害が増え続け、若年層とホワイトカラーに過労自殺が多い、脳・心臓疾患は、道路貨物運送業、建設業、サービス業に多く、精神疾患は、社会福祉・介護、医療などに多いと指摘。

非正規労働者が4割になり、正規社員は人数が減って仕事が増え、なお労働時間が延び、週50時間以上働く労働者が30%がにものになると指

摘。女工哀史の工場では、1日15時間働かされていたが、現在のブラック企業では、いまだに1日15時間もの労働をさせている。



講演する森岡氏（11月12日）

長時間労働は、諸悪の根源

こうした長時間労働は、①睡眠時間削減、②過労死・過労自殺増、③自由時間と余暇の削減、④社会参加、政治参加疎外、⑤低賃金の構造化、失業と貧困の拡大、⑦少子化の進行、⑧家族と地域の崩壊、⑨ブラック企業増加、⑩経済の衰退などがあり、諸悪の根源と指摘。

長期間労働削減の意義

こうした長時間労働を削減すれば、①創造的自由時間の確保、②家庭生活の充実、③社会参加の促進、④健康と創造性の確保、⑤勤労者の働きやすい職場環境づくりがあるとその意義を強調しました。

過労死防止法の内容と課題

そして、一昨年、過労死家族の会や過労死弁護団、実行委員会の奮闘で成立した過労死防止法について、国が初めて過労死を認めてその防止対策を推進すること（裏面に続く）

(表面より)を法律として明記したこと、そのため国・地方公共団体は、①防止対策の調査研究、②啓発、③相談体制の整備、④民間団体支援の4つの防止対策を行うこと、11月を「過労死等防止啓発月間」とし、防止対策のための「大綱」を家族の会、学者、弁護士等をいれた「協議会」で検討し策定する、「過労死白書」の発行などを定めていると解明しました。

今後の課題として、サービス残業の解消、36協定の指導基準強化、最低11時間休憩制度の導入、年休完全消化、連続休暇の取得などへむけて、法制上・財政上の措置を取らすことが必要と指摘しました。

過労死問題をテーマにした落語

「エンマのねがい」を桂福車さんが演じる

続いて、過労死問題をテーマにした落語「エンマのねがい」を落語家の桂福車さんが演じました。

「ねがい」は、過労死した若者が{あの世}に行き「天国か地獄に行くか」のさばきを受



落語を演じる桂福車さん 11月12日岡山市

ける閻魔大王の前に連れて行かれる時、青鬼や赤鬼から死亡した原因を聞かれて、その死因が働き過ぎだったことなどを教えらるという展開でした。過労死したシステムエンジニアの青年男性の家族から話を聞いて落語を作ったと言われています。

この落語は各地の「過労死等防止シンポ」(大阪、奈良、兵庫、福岡)でも上演されました。

ストップ! 憲法破壊・戦争法の具体化、働くルール破壊! 働くもののいのちと健康を守る県センター総会 2017年1月14日(土) 10時から12時

後を絶たない過労死、過労自殺や長時間労働による交通事故、健康破壊や災害、広がる職場でのいじめやパワハラ、パート、派遣、契約、アルバイトなど非正規労働者が4割にも上り、ブラック企業がはびこり、労働者の権利は保障されず、働くもののいのちと健康が大変な事態となっています。安倍政権はさらにと「働き方改革」といって、残業代ゼロ法案など働くルールを破壊しようとしています。

これをどう改善させ、人間らしく働けることを実現するのか。総会后、講演会を開きます。是非ご参加ください。

☆県センター総会 10時から11時

☆県労健康講座 11時から12時

講師 佐々木昭三氏
(労働総研常任理事)

講演 「『働き方改革』といのちと健康
を守る働くルールづくり」

会場 岡山国際交流センター地下ホール
岡山市北区奉還町2-2-1 (右の地図)
Tel.086-256-2905 駐車場はありません

